

英国でISAへの駆け込みが総選挙とペンショナー債の巨額発行、そして株高で減少。その中、ISAファンドでの人気は引き続き英国高配当株と不動産。

※国際投信投資顧問 投信調査室がお届けする、日本版ISAに関する情報を発信するコラムです。

英国で例年、課税年度末(4月5日)に見られるISAへの駆け込み投資が小さかったが、総選挙結果を巡る不確実性とペンショナー債2兆円台発行の為

2015年4月30日(木)に英国投資協会/The Investment Associationは「例年、課税年度末(4月5日)に見られるISAへの駆け込み投資が今年は小さかった。」と報じ(URLは後述[参考ホームページ])、英デイリー・テレグラフ紙/The Telegraph(英国で発行部数1位の日刊紙)は、この英国ISAの需要減について「英国総選挙(下記※1)結果を巡る不確実性で利益確定売りが出たほか、65歳超を対象に販売された魅力的な金利を有する金融商品ペンショナー債/Pensioner Bonds(下記※2)などに資金が向かった」としていた(URLは後述[参考ホームページ])。

5月7日の英総選挙で与党の保守党が単独過半数を獲得した事で、オズボーン英財務相が3月に発表の予算案で明らかにした「Help to Buy ISA」導入などを含むISAの制度改正(※3)は実現する可能性が高まったと言える。



※1: 英国総選挙…2015年5月7日に行われた英国総選挙は、キャメロン首相率いる与党保守党が331議席を獲得し、単独過半数(定数650議席)を制して勝利した。事前の世論調査では、保守党と最大野党の労働党の支持率が30%台と投票前日まで拮抗、「英総選挙は稀に見る『予測不可能な』選挙」(2015年3月9日付ロイター～URLは後述[参考ホームページ])と報じられていた。



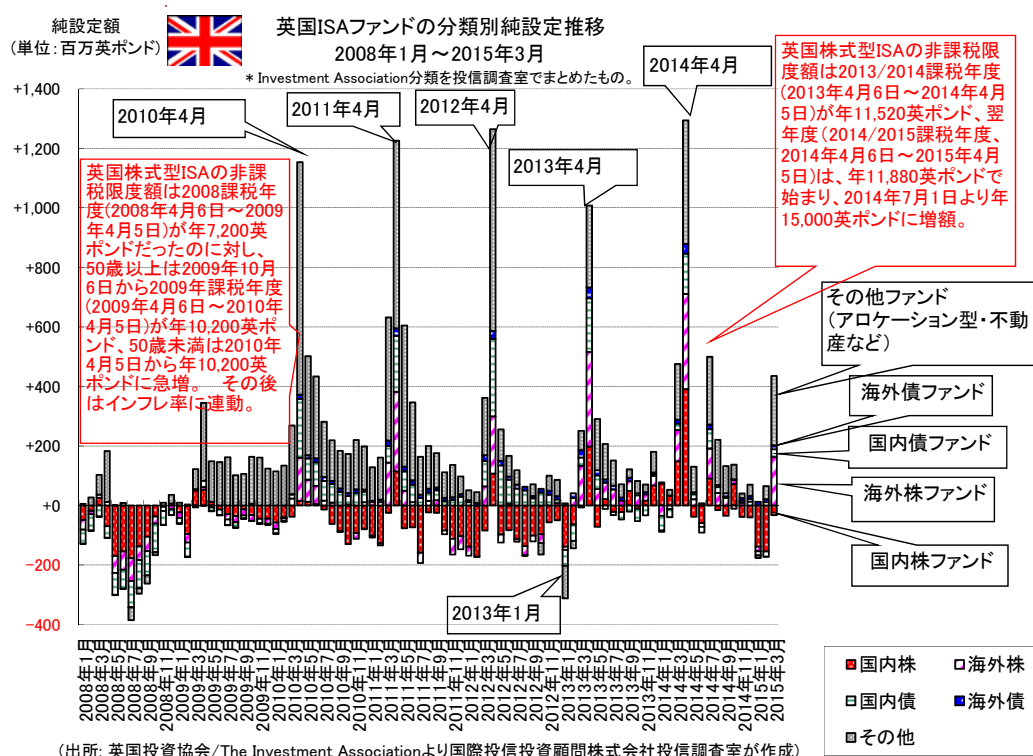
※2: ペンショナー債/Pensioner Bonds(年金受給者向け債券)…国民貯蓄投資機構/National Savings and Investment/NS&Iを通じ、英国政府が2015年1月15日に65歳超を対象に発行した(URLは後述[参考ホームページ])。1年ものと3年ものの2種類があり、それぞれ利率は2.8%、4%と、他の金融機関などで提供される金利より高めに設定されている(*英国の政策金利は2009年3月9日より0.5%で定期預金は1%前後)。預金型ISA(Cash ISA)とは異なり、利子については所得税が適用される(ISAは非課税)。いつでも引出し可能だが、換金に際して90日分の利子相当のコストを支払う。購入上限額は各1万英ポンド(約180万円)。このペンショナー債だが、新規設定の1月15日からわずか2日間で総販売額は11億英ポンド(約2000億円)となる人気で、5月15日で販売終了したが、「100万人超が購入/総購入額は130億英ポンド(約2兆3000億円)超と、英国における近年の個人投資家向け金融商品販売で最大規模」だったと言う(2015年5月16日付英国政府発表より～URLは後述[参考ホームページ])。日本の個人向け国債で2003年からの歴史で最大規模だったのが2005年4月発行の2兆3374億円だった事(*当時は四半期発行ですべて変動10年)、英国の人口が6410万人(2013年)と日本の人口1億2700万人(2014年)の約半分である事を考えれば、ペンショナー債が如何に巨額発行だったかがよくわかる。

※3: 「Help to Buy ISA」導入などを含むISAの制度改正…総選挙の翌日2015年5月8日に再任が明らかになったオズボーン財務相は3月18日に発表した予算案で、英国ISA(非課税措置の個人貯蓄口座)について、「柔軟性を追求する」と語り、同年度内なら出し入れ自由、対象商品拡大、初回住宅購入者向けの補助金付住宅資金貯蓄「Help to Buy ISA」導入などを含むISAの制度改正の概要を発表していた(2015年3月30日付日本版ISAの道 その95参照～URLは後述[参考ホームページ])。今回の総選挙の勝利で「Help to Buy ISA」導入可能性は大きく高まったと言える。

英国 ISA ファンドの駆け込み投資が例年より小さかった事を英国株との関係から確認

ISA への駆け込み投資をデータで確認する。2015年4月30日に英国投資協会/The Investment Association より公表された、最新の英国投信概況によると、最新2015年3月末に英国籍投信全体の純資産は8803億英ポンド(約157兆円)と過去最大だった。その16%を占めるのが、英国ISAファンドで、純資産は1447億英ポンド(約26兆円)と、同じく過去最大となった(*英国ISAファンド/ISA funds…日本のNISAが範としている「英国の株式型ISA/投信(MMF等を除く)」、2015年3月末の178円/英ポンドで換算~URLは後述[参考ホームページ])。

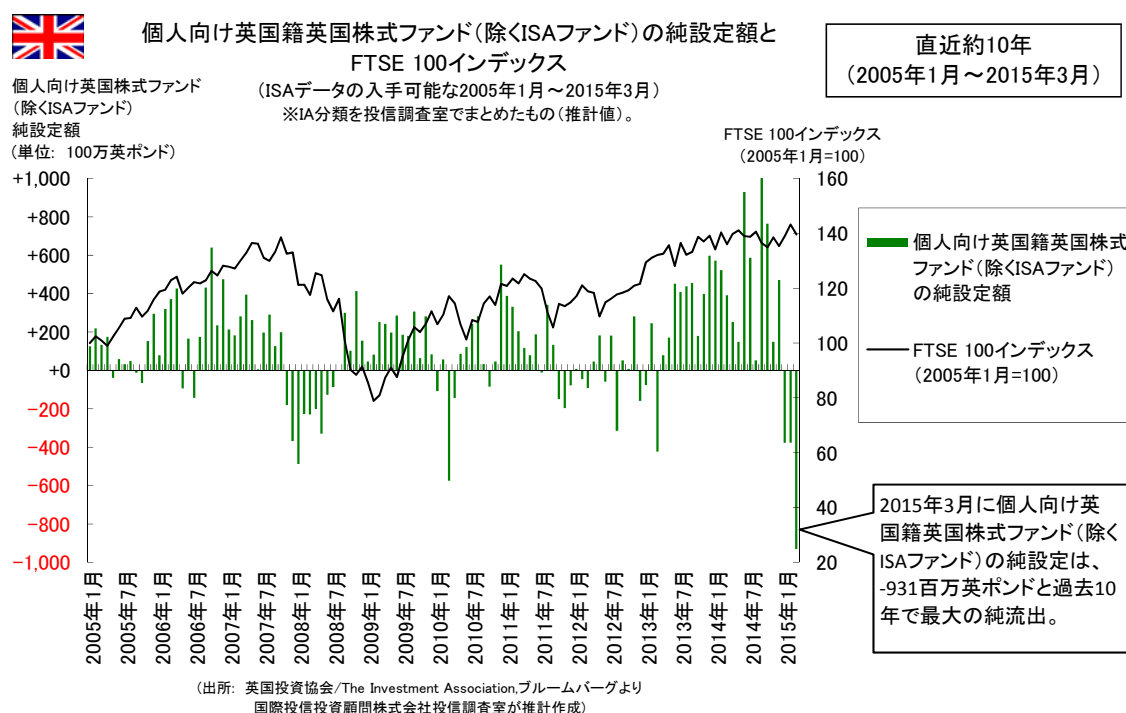
一方、英国籍投信全体への純設定は、最新2015年3月に+11億4600万英ポンド(約2116億円)と8カ月ぶりの大きさだった。その内、英国ISAファンドへの純設定は+4億300万英ポンド(約744億円)と、2014年12月以来3カ月ぶりの純流入で、2014年7月の+4億9900万英ポンド(約922億円)に次ぐ大きな純流入となった。例年4月にかけて純設定が膨らむという英国ISAの季節性(※4)が今年も現れた展開である。



ただ、ISAファンドの純設定は、2014/2015年度(2014年4月6日~2015年4月5日)1年間の総額でこそ前年度比18%増加したが、年度最後の約3カ月間(2015年1月~4月5日)に前年同期比-57%と大きく減り、年度最後の3月単月に前年同月比-11%、年度末最後の5日間(4月1~5日)に前年同期比-52%と半減した。これが冒頭の記事にあったISAの需要減と言われたものである。

英国では 2014 年 7 月 1 日から新しい ISA (New ISA) 導入で、非課税枠が年 15000 英ポンド(約 261 万円)へ 3 割増額となり、その 7 月、ISA ファンドの純設定は大きく伸びた(前頁グラフ参照)。2015 年も引き続き ISA ファンドが拡大することが期待され、「年 15000 英ポンドへ大幅に拡大した非課税枠を利用する投資家の増加に伴い、今年、株式型 ISA への投資額は前年度比 23.4%増加する。」(2015 年 2 月 12 日付 FT 誌)との予想も報じられた。その中で、課税年度末にかけて前年を下回ったのは、冒頭の理由に加えて、記録的な英国株高もあった可能性がある。2015 年 3 月は 3 月 23 日に代表的な英国株指数である英 FTSE100 指数が 7037.67 と、初の 7000 台で過去最高を更新したのである(*昨年 12 月 15 日に 6182.72 と 2013 年 6 月 26 日以来の安値まで下落していたので+13.8%高)。2015 年 4 月 27 日には 7103.98 と、過去最高を更新している(5 月 22 日は 7031.72)。2015 年 3 月は株高基調の中、ISA の非課税を享受すべく利益確定の売りがあっても不思議ではない。

実は、利益確定の売りは ISA だけでなく英国の投信(ファンド)で目立った動きである。英国株式ファンドの純設定は、2015 年 1 月に-515 百万英ポンドと、2013 年 3 月以来 1 年 10 カ月ぶりの純流出で、2 月-531 百万英ポンド、3 月は-963 百万英ポンドと過去 10 年で最大の純流出だったのである。



次頁グラフは英国株に投資する投信(ファンド)とISA ファンドについて、過去 10 年の季節性を示すものである(※5)。3 月は英国株式ファンドの平均純設定が最も小さく、純流出だった。英国株式ファンドが 9 月に買って 3 月に売ることの多いように見えるのに対して、ISA ファンドでは 4 月に純流入が集中している。



個人向け英国籍英国株式ファンド(除くISAファンド)とISAファンドの
純設定額とFTSE 100インデックスの季節性

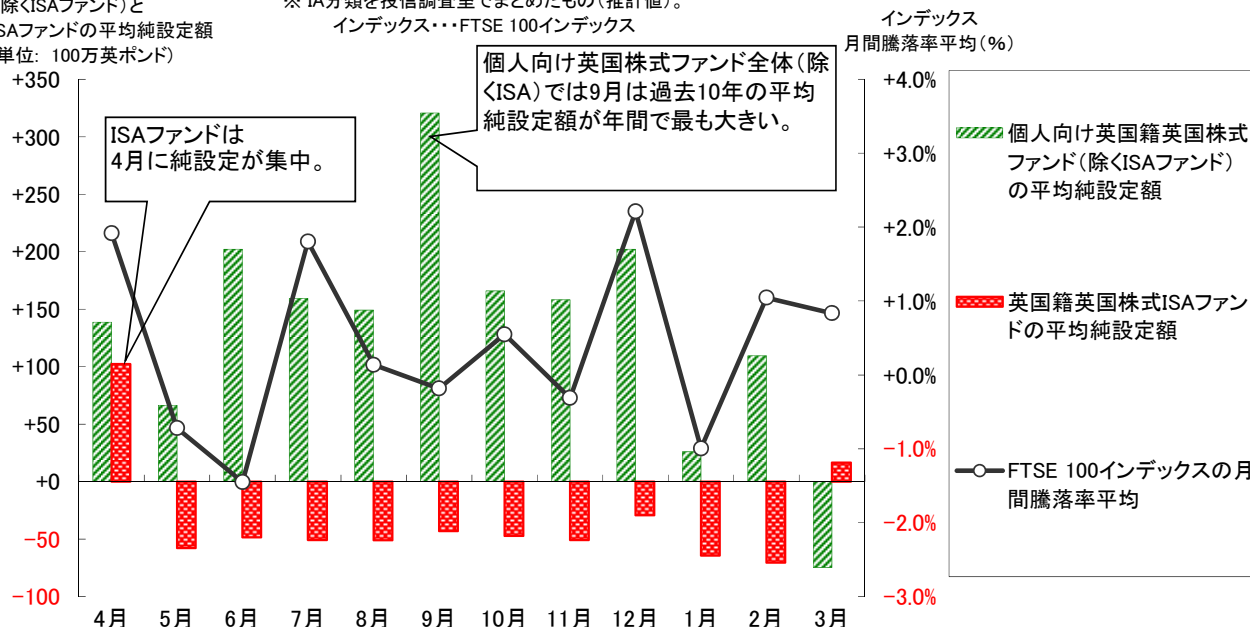
(2005年4月～2015年3月の月ごとの単純平均)

※ IA分類を投信調査室でまとめたもの(推計値)。

インデックス・・・FTSE 100インデックス

過去10年度の平均
(2005年4月～2015年3月)

英国籍英国株式ファンド
(除くISAファンド)と
ISAファンドの平均純設定額
(単位: 100万英ポンド)



(出所: 英国投資協会/The Investment Association,ブルームバーグより
国際投信投資顧問株式会社投信調査室が推計作成)

※4: 英国ISAの季節性…英国ISAのファンドでは、例年4月を中心に大きな純流入となる傾向がある。それは、英国の投資家が毎年4月5日の課税年度終了前に未使用分の(駆け込み)投資をして、4月6日から新年度になると非課税を最大限享受すべく一気に投資をする場合が多い事(金融機関もキャンペーンをする事)がある。英国ISAでは、その年に決められた非課税枠のうち使わなかった分を翌年に繰り越すことができないことが背景にある(日本のNISAも同様)。

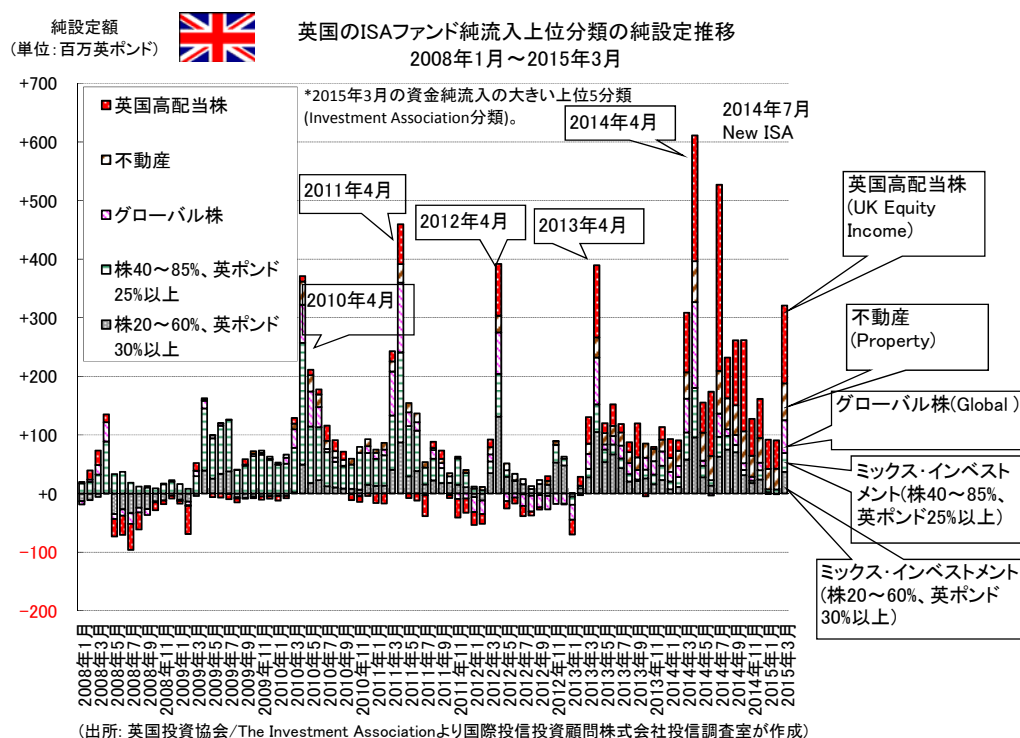
昨年2014年4月のISAファンドの純設定額は+1293百万英ポンド(約2322億円)と前月3月の+475百万英ポンド(約818億円)から大きく伸び、2014年4月1日～5日に+358百万英ポンド(約615億円)が純流入したと発表されており、翌4月6日～30日に+935百万英ポンド(約1707億円)の純設定があった計算である。

2015年は、4月5日までの分が発表されているが(2015年5月22日時点)、ISAファンドの純設定額は3月に、+403百万英ポンド(約740億円)と前月2月の-107百万英ポンド(約-190億円)から伸び、課税年度最後の5日間(2015年4月1日～5日)は+171百万英ポンド(約315億円)が純流入している。4月6日以降月末までを加えた4月の純設定額は5月下旬に英国投資協会/The Investment Associationから公表される予定。

英国において、こうした3月頃から4月にかけてのISAの純流入の膨らむ時期は「ISAシーズン」と呼ばれている。日本では12月終わりにかけてそうした動きが起こりそうである(2014年7月28日付日本版ISAの道 その65及び2014年9月8日付日本版ISAの道 その70及び2015年3月2日付日本版ISAの道 その92参照～URLは後述[参考ホームページ])。

株価が過去最高を更新する英国で、ISA ファンドの人気は英国高配当株と不動産

最後に、株価が過去最高を更新する英国で、2014年7月に次ぐ大きな純流入となったISAファンドの最近の人気はどのような投資対象だったかを見る。最新2015年3月の純設定を分類別にみると、英国ISAファンドで最も純設定額の大きかったのが、「英国高配当株(UK Equity Income)」、次いで「不動産(Property)」、「グローバル株(Global)」だった。2014年の年間(1~12月)および2015年の年初来(1~3月)純設定でも、1位「英国高配当株」、2位「不動産」となっていて、2014年に引き続き、高配当株が人気である。



以上
(投信調査室 松尾、窪田)

[参考ホームページ]

2015年4月30日付英国投資協会/The Investment Association 月次英国投信概況…

「<http://www.theinvestmentassociation.org/media-centre/press-releases/2015/press-release-statistics0315.html>」

2015年4月30日(木)付英デイリー・テレグラフ紙/The Telegraph…

「<http://www.telegraph.co.uk/finance/personalfinance/investing/11573805/Isa-demand-slumps-as-savers-turn-to-pensions-and-pensioner-bonds.html>」

2015年3月9日付ロイター記事「接戦の英総選挙、予算案はキャメロン政権の追い風になるか」…

「<http://jp.reuters.com/article/marketsNews/idJPL4N0WC2K520150310>」

2015年3月30日付日本版ISAの道 その95「総選挙間近の英政府がISAの大きな制度改正を発表! 年度内なら出し入れ自由で、対象商品拡大、そして「Help to Buy ISA」と言う補助金付住宅資金貯蓄も!!」…

「<http://www.kokusai-am.co.jp/news/jisa/pdf/150330.pdf>」

国民貯蓄投資機構/National Savings and Investment/NS&I のペンシヨナー債/Pensioner Bonds(年金受給者向け債券)関連…「 <http://www.nsandi.com/65-guaranteed-growth-bonds?ccd=NALBAA> 」、
2015年5月16日付英国政府発表記事「More than a million buy popular pensioner bonds」…
「 <https://www.gov.uk/government/news/more-than-a-million-buy-popular-pensioner-bonds> 」、
2014年7月28日付日本版ISAの道 その65「NISA 目標達成にはNISA 非課税限度額引き上げが有効！12月までの未使用分投資と1月における非課税限度額の最大限享受を期待～本家英国ISA が示唆すること～」…
「 <http://www.kokusai-am.co.jp/news/jisa/pdf/140728.pdf> 」、
2014年9月8日付日本版ISAの道 その70「来年に持ち越せないNISA で何に投資する？NISA 開始から8カ月で、人気のあるのはREIT ファンドやグローバルの株・債券ファンド。」…「 <http://www.kokusai-am.co.jp/news/jisa/pdf/140908.pdf> 」、
2015年2月12日付FT 誌「New dawn for Isa season beckons」…
「 <http://www.ftadviser.com/2015/02/12/investments/savings-and-isas/new-dawn-for-isa-season-beckons-Oq9SG1Ar4URv66NjF7peiP/article.html> 」、
2015年3月2日付日本版ISAの道 その92「英国の4月効果、米国の1月効果、日本は何月効果？～英国のISA は今まさに『冬』で、来たるべき『春』、『ISA シーズン』へ向けて準備をしている所～」…「 <http://www.kokusai-am.co.jp/news/jisa/pdf/150302.pdf> 」。

本資料に関してご留意頂きたい事項

本資料は日本版ISA(少額投資非課税制度、愛称「NISA/ニーサ」)に関する考え方や情報提供を目的として、国際投信投資顧問が作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。なお、以下の点にもご留意ください。

- 本資料中のグラフ・数値等はいくまでも過去のデータであり、将来の経済、市況、その他の投資環境に係る動向等を保証するものではありません。
- 本資料の内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等をもとに作成しておりますが、その正確性、完全性等を保証するものではありません。
- 本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の国際投信投資顧問 投信調査室の見解です。

本資料中で使用している指数について

・FTSE International Limited(“FTSE”)©FTSE 2015年。“FTSE®”はロンドン取引証券所グループ会社の登録商標であり、FTSE International Limitedは許可を得て使用しています。FTSE指数、FTSE格付け、またはその両方におけるすべての権利は、FTSE、そのライセンサー、またはその両方に付与されます。FTSEおよびライセンサーは、FTSE指数、FTSE格付け、もしくはその両方、または内在するデータにおける誤りや省略に対して責任を負わないものとします。FTSEの書面による同意がない限り、FTSEデータの再配布は禁止します。